親子や友達と一緒に美味しいしんこ団子を作ろう！ 夏の親子料理教室

7月30日、垂水市市民館で夏の親子料理教室が開催されました。これは、生活研究グループ協議会垂水支部が食育推進事業の一環として企画したもので、コロナ禍の影響により3年ぶりに開かれました。市内の9組20人の親子が、鹿児島県内発祥である「しんこ団子」づくりを体験しました。参加した児童は「団子を同じ大きさに丸めて作るのが難しかったけど、うまくできました」と話してくれました。児童たちは、醤油、きなこ、あんこ、ココア味に仕上げたしんこ団子をお土産に、各自で試食を行いました。ご参加いただきありがとうございました。

▲団子のこね方を教えてもらう子どもたち

▲餅をこねている様子

▲4種類の美味しいしんこ団子ができました！

夏休みも美味しいご飯を届けて、皆を笑顔に！ 垂水こどもみんな食堂

8月6日、牛根地区公民館で垂水こどもみんな食堂が開かれました。当日はボランティア7人と、垂水高校生4人が地元の方々から提供された食材を使い、カンパチ唐揚げ丼を作りました。この丼は市内の各児童クラブや地元の方々に無料で配布され、受け取った方は嬉しそうにお礼を伝えていました。同食堂の発起人、川筋貴子さんは「食生活改善推進員として長年勉強させていただいた恩返しに、市民の皆様にあって良かったと思ってもらえるようなこども食堂にしたいです。地域の皆様からの食材提供には心より感謝しています」と話しました。

▲お弁当を作ったボランティアメンバーと垂水高校生の皆さん

▲美味しいお弁当と、感謝の思いを交換

▲お弁当を口いっぱいに頬張る牛根児童クラブの子どもたち

まちの話題
Tarumizu TEA TIME

夏の風物詩でみんなにひとときの幸せを Tarumizu hanabi 2022

8月6日、新城・柊原・潮彩・中央・海潟・浮津の6箇所で『Tarumizu hanabi 2022』が開催されました。これは、終わりの見えないコロナ禍で閉塞感が続いている日々でも、ひとときでも幸せな気持ちになってほしい、心に残る希望の光になってほしい、という思いから、垂水市商工会青年部が企画したものです。2022年にちなんで20時22分に始まり、約3分間花火が打ち上げられました。観覧した方は「2箇所から同時に打ち上がる花火を見ることができて感動しました」と話しました。夏らしさを感じる、垂水の鮮やかな夜となりました。

▲海潟：海潟漁港

▲浮津：浮津港

▲新城：新城の漁港堤防

日本女子ソフトボールリーグに参戦している MORI ALL WAVE KANOYA の選手が表敬訪問

8月16日、日本女子ソフトボールリーグに参戦している「MORI ALL WAVE KANOYA」の皆さんが市長室を訪れました。同チームは、「鹿児島県にプロチームを創設し、県内でソフトボールをしている若者に夢を与えたい」という思いと、「人口減少が進む地方の活性化」や「女性活躍の推進」「鹿児島県民全体へのスポーツの魅力を伝えていく」ことを目指して、2020年12月に鹿屋市輝北町の森産業グループが運営母体となり、発足したプロチームです。チームスローガンの「進化～ catch the moment ～」のもと、発足1年目の2021年は同リーグ3部で優勝に輝き、今シーズンは同リーグのプラチナセクション（実質的に同リーグ2部）で、取材日現在2位の成績を残されています。池田一未監督は「これから始まる今シーズン後半戦も初戦から勢いをつけて、5試合全勝できるように頑張ります。応援よろしくお願いします」と今シーズンにかける決意を述べました。地元の大隅半島にあるプロチームをみんなで応援しましょう！

▲ MORI ALL WAVE KANOYA の皆さん

なお、同チームは、スポンサーやサポーターを募集されています。

◀詳細は公式サイト（QRコード）からご覧ください。